祝１００歳　おめでとうございます

山口（やまぐち）　のぶ　さん（大窪２区）

▶写真中央がのぶさん。お祝いに駆けつけられた皆さんとともに

1月25日、大窪2区にお住まいの山口のぶさんが100歳のお誕生日をお迎えになりました。当日、町長はじめ関係者が現在入所中の白寿荘にお祝いに伺いましたところ、元気な笑顔でお出迎えくださいました。終始和やかな雰囲気の中、ご家族の方ともお話をさせていただきました。明治43年生まれの山口さんは、若い頃から手先が大変器用で、手芸作品はよく文化祭などに出展されていたそうです。

あまりくよくよしたりせず、日頃から「感謝の気持ち」を持ち続けることが大切とお話しいただきました。

ユーモアたっぷりの山口さん。100歳、おめでとうございます。

お体を大切に、いつまでもお元気でいてください。

平成21年度　年金ポスターコンクール　滋賀県教育委員会教育長賞を受賞

▲受賞作品

▲津田捺希（つだなつき）さん

滋賀社会保険事務局による平成21年度年金ポスターコンクールで、日野中学校1年生の津田捺希さんが、滋賀県教育委員会教育長賞を受賞されました。

「豊かな老後」という文字と、おじいさん・おばあさん、お父さん・お母さん、2人の子どもたちがお茶の並んだ一つの机を囲んでいる様子が描かれた作品です。公的年金がみんなで支えられていることを表現されたそうです。

おめでとうございます。

綿向雑感

日野町長　藤澤直広

「古（いにしえ）より日野渓と呼ばれ、歴史的にも日野商人発祥地として全国に広くその名を知られ～馴染（なじ）み、親しまれているので」町の名称は「日野町」とする。昭和30年2月6日、1町6村の町村長が知事に提出した「日野町設置に関する申請書」に記されています。今年、日野町は、昭和30年3月16日に日野町、東桜谷村、西桜谷村、西大路村、鎌掛村、南比都佐村、北比都佐村が合併し55周年を迎えます。当時の人口25,114人、世帯数5,359。1町6村の議員総数113人、町職員総数220人、予算規模は一般会計約1億円。現在と比べると人口は1割減に、世帯数は5割増に、予算規模は80倍に、職員数は1割減に。また、「ラヂオ」の聴取戸数が3,807戸とも記されています。

当時、一般家庭にテレビはなく、もちろん上水道も下水道もなく、農作業も手作業が主体で自給自足的な生活が営まれていました。小学校から帰ったら割り木と柴で風呂を焚（た）いたりもしました。隣同士で風呂を交替で利用する習慣もありました。あれから55年、生活基盤は大きく整備され利便性は比較にならないほど向上しました。

しかし、一方でとんでもない格差社会が出現しました。首相の施政方針演説にあるように「労働なき富」「道徳なき商業」を根本から転換し、キーワードとして使われた「命を守る政治」を国民の世論で実現し、演説の結びにあるように「平成22年を日本の再出発の年」にしなければなりません。

ところで、日野町の平成22年は、伊藤みき選手のオリンピック出場でスタートしました。現地まで30名が応援に、日野公民館での応援会には400人を超える皆さんが駆けつけ、大型スクリーンに映し出された伊藤選手の滑りに大声援を送りました。そして、快心の滑りに感動しました。ある新聞記者が「日野町は温かい町ですね」と言ってくれました。安心して暮らせる町に、さらに温かい町へ、日野町60周年に向けてみんなで元気に歩みを進めましょう。